

令和6年度

保護者説明用 (説明資料)

教務主事

飯島 道弘
(物質工学科)

2024(R6)



みなさんは、**自らの意思で**学び研究する **「学生」**

やらされている、という感覚を排除し
自らの意思で、自分の将来を切り開くことが必要
自覚を持つとう！

自分の行動に責任を持ち、
自主的、計画的に行動し、
計画性、判断能力、自己管理能力を身に付けること

他人の批判より、
自分を高めるための努力を！

学生生活において大切なこと

(社会人としても重要になること)

LMS

HP, InfoU

自主性

- 掲示板を見る。(印刷書類もWebも)
- わからないことは、友達や教職員に確認してすぐに解決する。

自立

- 自分のことは自分でする。
- 忘れ物はしない。
- スケジュールを自分で管理する
- 人のせいにならない

手帳や
スマホの利用

自律

- ON と OFF の切替えをする。
- 提出物は期限までに提出する。

重要なこと（全学生向け）

夢や目標を持つこと

どんな夢でも良い。
向上心の持続につながる。

専門的な技術者になる！
大学教授になりたい！
建築士になり自営したい
海外で仕事をしたい

どんな夢でも大丈夫！

実現できていない私の夢
まだ夢を持ち続けています！



スーパーカー 温泉付き別荘

大きな夢と目先の実現可能な目標が大切です

夢の実現のために、自己分析し、
自分に何が足りないかを
学生時代に考えよう

重要なこと

悩んだ時こそ、
まずは**60点でも**
「前に進んでみる」
「トライする」ことが大切。

多くの経験（勉強・学級活動・テスト・
課外活動・イベントなど）から

自分自身を理解すること

（長所・短所・PRポイント・得意・不得意、効果的な勉強方法など）



自分に適する夢・目標の選択へ



重要な選択肢はたくさんある

選んで良かったと思えるように努力し行動していくことが重要

高専生活で重要なこと

授業やテスト

自身に合う勉強法を模索し、確立することが重要

友人とともに勉強し、教えあい、異なる勉強法を学ぶことが重要！

「専門性を大切に」「強みを作ろう」

専門性や得意な部分を高め、**専門にこだわりと自信を持つことが重要** → 大学進学や就職の武器になる！

課外活動と勉学の両立

時間の有効的な使い方を覚え、少ない時間で効率的に実施できる自己管理能力を付けることが大切

異なることを行うことで、オンとオフ切り替えの練習をしよう

→ 将来的に、大学進学や就職の武器になる！

小山高専の授業・成績等について

授業の空き時間の有効利用をしよう

予習・復習・課題・友人との教えあい

この時間の使い方が、成績や理解度に大きく影響する

他のクラスは授業中であることを考えよう。

他人に迷惑をかける時間ではありません。

(大声を出す、ボール遊びなどをする、ゲームをする時間ではありません。注意してください。)

- ・ 中抜き時間割の空き時間の有効利用推進
- ・ 課外活動までの空き時間の有効利用推進

学校で少しでも課題などを終わらせよう。

教務関係の書類などについて

◎欠席フォーム（第一報を入れ、情報共有）

◎公欠届（証拠書類などを添えた書類による提出）

◎欠席（欠課、遅刻、早退）届
（理由を明記し、添付資料などととともに提出）

◎追試験願
（証拠書類などを添えた書類による提出）

◎再履修免除願
（留年した際に、前年度合格した科目の一部）

◎再評価願（前年度、不合格となった科目）

欠席・遅刻時の連絡

欠席／遅刻連絡フォームに登録

欠席・遅刻の連絡：当日の朝8:35までに登録

原則、保護者の方が登録する。

（保護者の承諾を得た上で学生本人の登録でも可。）

欠課数への注意について

1/4や1/3を超える欠課数：進級や合格に影響

遅刻：15分を超えると欠課（遅刻も3回で1欠課）

複数回の欠課：ご家庭での注意をお願いします。

特に、必合格科目、前期終了科目、**必修科目**、**高学年の必履修科目**には、注意してください。

欠席・遅刻連絡フォーム

こちらをクリックしてください

日々の欠席及び遅刻の連絡手段として「欠席・遅刻連絡フォーム」を設けることとしましたので
下記要領でご対応くださいますようお願いいたします。

記

(1) 本フォームによる連絡は原則、保護者の方からお願いします。
(保護者の承諾を得た上で学生自身が連絡を行うことは差し支えありません)

(2) 連絡は当日の8：35までに本フォームにより送信してください。

欠席・遅刻連絡フォーム：<https://forms.office.com/r/LTNagPhEp5>

(3) 予め2日以上連続で欠席することがわかっている場合は、最後の「連絡事項」の欄に
「～〇月〇日まで欠席」等の記入をいただければ、毎日の連絡は不要です。

(4) 緊急時又は本フォームを使用できない時は、学生課教務係宛に電話にて欠席のご連絡を
お願いします。（学生課の電話対応可能時間は平日8：30～17：00です）

学生課教務係TEL:0285-20-2142

公欠の扱い

公欠になるものは指定されています。

- ・公式競技大会(1-3年)(事前の届出必要)
(高体連、高専大会、コンテストなど)
- ・学校感染症
(コロナ、インフル等による出席停止)
- ・忌引き
- ・その他、校長が特に認めた行事などへの参加

**体調不良、自己都合による
欠席や遅刻は該当しません。**

各種証明書類とともに速やかに事務手続きする。

定期試験における追試などの扱い

病気やその他やむを得ない事由により、定期試験・中間試験を受験できなかった場合、本人の申請により追試験を受けられることがあります。

追試験の申請には、欠席事由を証明する書類の添付が必要
例：病欠の場合、療養のため欠席せざるを得なかった理由とその期間を明記した医師の診断書が必要。

申請すれば全て許可されるものではない点に注意
(証明書類等がなければ申請もできません)

追試験実施時の最高点

- 100点：学校感染症等による出席停止、忌引、災害、公共交通機関の不通
大学編入学試験、学校推薦による就職試験等
- 80点：上記以外

定期試験、中間試験中においては、体調を整えて出席し受験することが重要です。

保護者の皆さまへのお願い

登校や授業に関する緊急連絡等

HP内の『学生・保護者の方』の【InfoU】でご案内します。

成績通知の通知

総合成績が付される定期試験(年2回)のみ。

学生宛には年4回 WebClass上で通知。

異常気象時の休校連絡:

当日決定した場合、朝6時半にHP,学生用チームスなどに掲載

中間試験の成績について

中間試験は、授業時間の中で実施する関係から科目により試験と授業があり、同時に行われています。

中間試験結果では

- 中間試験を実施した科目の**素点**
(中間試験における試験成績のみ)
- 全科目における**欠課数**
(直前の公欠扱いなどは、まだ反映されていないものもあります)

を記載しています。

期末テストに向けて、参考にしてください。

学生・保護者のみなさんへお願い

OKPASSによる登校見守りシステム（義務化）

学校に登校しているかを確認するシステム

登校後にQRコードを読み込むようにご協力ください。

出欠席の状況、登校状況、健康などの状況等、教員と学生の情報共有や相談が大切です。

高学年も含めて、登校したら、全員OKPASSを行うようにしてください。

学習システムについて

LMS(学習管理システム)

昨年からWebclassを使用しています。

授業資料確認、科目ごとの諸連絡、課題提出、アンケート、ミニテスト、成績確認などに利用できる。今後、LMSの利用を推進していく予定です。

Microsoft365の継続活用(Teamsなど)

従来通り、上記LMSと併用して、オンライン授業・会議や、チャット機能による連絡などに利用していく。

教員や担任との連絡

(夜間・休日などは緊急を除き避けること)

Microsoft365のクラスや科目のチームスや個人のチャット機能等を利用

個別質問などは可能ですが、できる限り、直接対話を心がけましょう。
同姓同名が宛先リストに出る場合があるので、注意が必要

礼儀作法に注意しよう！(社会人になるための第一歩)

ポートフォリオ教育の大切さ

自身の学習成果や成績などを保存、確認し、振り返りをして、自身の改善につなげることが重要

LMS(webclass)などを活用する。

定期的な振り返り……………中間試験、期末試験の成績から

科目ごとの振り返り……………科目ごとに勉強法なども異なります。
定期的に自身の取り組みを振り返ること

5年間通した振り返り……………キャリア教育、部活動など継続的な活動
に対して、毎年振り返り、自身の改善につなげていこう

自分のことを分析し、日々の改善につなげていこう

将来、「やりたいこと」を実現するために

「今、やらなければいけないこと」や
「今、できること」に努力し、
いろいろなことを経験し可能性を拓けましょう。

「答えのある問題」から「答えのない問題」へ

答えのある問題は、「AI」が導き出してくれる
自分自身の将来は、答えがない。
どんな未来も正解と思えば正解です。
困難を乗り越える力を身に付け、
自身が納得するように努力して歩み続けよう。

《学年課程修了基準》

基準項目	1-3学年	4学年	5年(卒業)
現学年における 不合格単位数	5単位を 超えない	5単位を 超えない	
前年度の不合格科目 (「再評価」を実施)	合格	合格	合格
欠課数(1/3を超える) " (1/4を超える)	1科目以上ない 5科目以上ない	1科目以上ない (必修・必履修)	1科目以上ない (必修・必履修)
必合格科目 (現学年で必修得)	合格(実験実習科目、工学基礎、工学デザイン、コラボワークI,II、プレラボ、ライフサイエンス、環境科学など)		

卒業要件(必修・必合格をすべて合格し、167単位以上(一般科目:75、専門科目:82以上))

＜単位が不合格になった場合(再チャレンジ)＞

◎再試験(当該学年・学期末、40点未満は受験不可)、◎再評価(進級後)

行事について

前期球技大会: 5月22日

前期中間試験: 5月30日～6月6日

前期末定期試験: 7月31日～8月6日

オープンキャンパス: 7月27日

夏休み: 8月10日～9月23日

海外研修旅行(3年生): 9月8日～9月13日

後期授業開始: 9月24日～

後期球技大会: 10月23日

工陵祭: 11月3日～4日

後期中間試験: 11月19日～26日

後期末定期試験: 1月31日～2月6日

学年ごとの重要点

1年生～3年生(共通)

- ・**基礎学力**をつける……その後の進学・就職活動に成績も影響します。
- ・課外活動やイベントを通して、**自分の個性を認識し(長所や短所)**、長所を伸ばし、短所を改善するように心がける。
特に、**協調性**や**自己管理能力**は重要。
- ・将来の**夢や目標**を見つける……大きな夢とそれに近づくための小さな夢
- ・**英語**を勉強することや海外に行くことに抵抗をなくす
- ・学校以外に様々な経験をし、**好きな分野や職について自主的に調査する。**

何事にも積極的にチャレンジしてみよう

学年ごとの重要点

1年生

- ・高専に慣れよう。
 - ・課外活動などを通して、人脈を作ろう。
 - ・勉強習慣を身に付けよう。
 - ・時間の使い方を学んでいこう。
- （放課後に課題を行う、自宅での学習時間の確保など）

2年生

- ・中だるみに注意しよう（成績が不安定になり始める時期）。
- ・初心を忘れずに、勉強習慣を持続しよう。
- ・専門科目が増えてくるので、理解しよう。

3年生

- ・中だるみに注意しよう（成績が不安定になる時期）。
- ・初心を忘れずに、勉強習慣を持続しよう。
- ・専門科目がかなり難しくなるので、理解しよう。
- ・免許取得などで行動範囲が広がるので、勉強と遊びのバランスに注意

進路対策を早い段階から積極的・計画的に行うことが重要

4年生

専門科目が多くなり難しくなる。計画的な勉強姿勢を維持する。

インターンシップ

業種、職種、会社規模など自分の将来に合致するか見極める良い機会
進学希望者も業種と職種を良く勉強し、進路選択の動機付けにすること

好きな業種(分野)を体験……自分のイメージと同じか、職種のイメージも合うか？
→ 将来の就職時の業種・職種選択に参考になる。

大企業か小企業か？……自分がどちらの会社に合っているかを探れる。

地元企業か全国的な企業か？ 理想の職種は、今の学歴で十分か？

メールや履歴書、電話など社会人のマナーから始まるので注意する。
就職を考慮している場合は、インターンの態度ややり取りは最重要

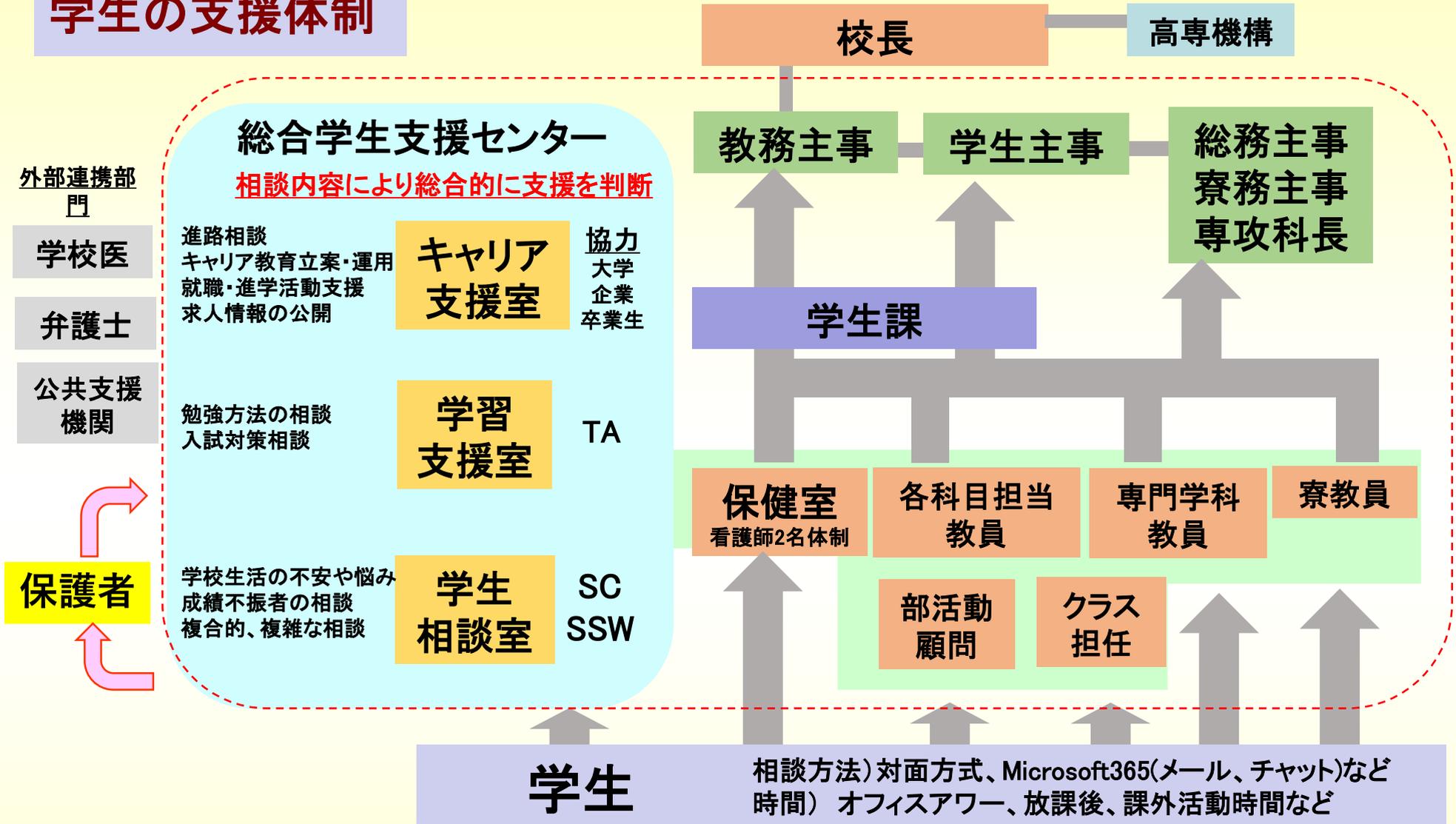
TOEIC受験

進路選択(大学・専攻科・企業)に重要になります。複数回受験を推奨

受験勉強

学力試験での大学編入学を考えている人は、4年生後半くらいから
入試対策を始めます。候補大学を選び、試験科目の確認をしてください。

学生の支援体制



分からないことや悩みがあるのは、当然のことです。
遠慮しないで近くの教員に相談してみよう。

充実した学校生活を送るために最も大切なこと

基本的な生活をし、自己管理能力を身に付ける

1. 規則正しく生活し、睡眠時間を確保すること
スマホ、ネットゲームを夜中まで行わない → 保護者の協力が必要
2. 食事をきちんととること
3. 予習・復習をして、課題提出をすること
4. 勉強以外のことにも積極的にトライすること
(課外活動、資格、ボランティア、留学など)
5. アルバイトに没頭しないこと
6. 家庭できちんと会話し、社会生活に必要な
基本的なルールやマナーを理解し、習得すること